

～適期の刈り取りで収量・品質を確保～

1 8月20日現在の生育状況 ～1穂着粒数多く、㎡当たり着粒数多い～

表1 水稻定点調査結果(農業振興普及課)

	穂数 (本/㎡)	葉数 (葉)	着粒数		出穂期
			粒/穂	粒/㎡	
本年	494	13.5	74.2	35,824	7月30日
平年値	484	12.8	68.2	32,900	8月2日
平年比・差 (%、±)	102%	+0.7	109%	109%	-3

品種はあきたこまち、管内5カ所平均

- 管内では、7月下旬頃から出穂期に達したほ場が見られ、管内全域の出穂盛期は平年より3日早い8月1日となりました。
- 定点調査ほの出穂期平均は、田植日が早かったこともあり、平年より3日早くなっています。
- 穂数については、茎数が7月中旬まで平年より少なく推移したものの7月下旬には平年並となり、穂数も平年比102%と平年並になりました。
- 1穂着粒数は、幼穂形成期から減数分裂期頃にかけて葉色が濃く推移していたこともあり、平年比109%と多くなりました。
- ㎡当たり着粒数(㎡当たり穂数×1穂着粒数)は、穂数が平年並で、1穂着粒数が多いことから、平年比109%と多くなりました。

2 斑点米カメムシ類防除～収穫2週間前まで畦畔・農道の草刈り禁止～

- 病害虫防除所から、8月7日に防除対策情報第12号(水稻 斑点米カメムシ類)が発表されています。8月上旬のすくい取り調査では、水田内に雑草(ノビエ、カヤツリグサ科)が発生しているほ場で、斑点米カメムシ類の発生が多い傾向でした。
- 出穂期以降に気温が高く推移し、割れ粃の発生量が多くなると、側部の加害が多くなる可能性があります。
- 水田内雑草があるほ場、牧草地や休耕田などの発生源に隣接しているほ場では、出穂期24日後頃に、畦畔を含めたほ場全体に茎葉散布剤を散布します。
- 畦畔・農道及び雑草地(法面や休耕田など)の草刈をする場合は、稲の収穫2週間前以降に行います。

3 登熟の向上を図る水管理

- 1ヶ月予報（仙台管区气象台8月15日発表）では、向こう1ヶ月は気温が高くなる見込みです。
- 早期に落水すると、葉色の低下や枯れ上がり、根の機能減退により登熟が妨げられ、収量、品質、食味が低下する場合がありますため、落水の時期は概ね出穂30日後としてください。

4 刈り取り ～適期の刈り取りで品質低下防止～

刈取適期は個々のほ場条件で異なるため、出穂後の日数、出穂後の積算気温で予測すると共に、籾の黄化程度、枝梗の黄化程度などを観察し総合的に判断してください。

刈取適期の予測

- 出穂後の日数
早生品種で45日前後、中晩生品種で50日頃
- 出穂後の積算気温：出穂期翌日から日平均気温を積算した値（表2参照）
早生品種（あきたこまち等）・・・950～1,050℃
中晩生品種（めんこいな等）・・・1,050～1,150℃

刈取適期の目安

- 籾の熟色
葉や穂首が緑色であっても籾の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の割合）の頃
- 枝梗の黄化程度
穂の主軸の上から5番目までの枝梗が黄化した頃

表2 出穂後の積算気温到達日予想

出穂期	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
	早生品種「あきたこまち」等				
			中晩生品種「めんこいな」等		
7月27日	9月6日	9月8日	9月11日		
8月1日	9月12日	9月15日	9月17日	9月20日	9月23日
8月5日	9月18日	9月20日	9月23日	9月27日	9月30日
8月10日	9月25日	9月28日	10月2日	10月5日	10月9日

※8月20日までは実況値、8月21日以降は平年値で計算

- 本年の出穂盛期である8月1日出穂のあきたこまちでは、9月12日～16日頃が積算気温から予測した刈取適期となります。
- 今後も高温の予報となっていることから、さらに刈取適期が早まることが予想されるため、刈り遅れに注意してください。

！今後も高温の予報！作業前に「熱中症特別警戒情報」等の発表状況を確認しましょう！

あきたこまちRを
紹介しています！
紹介ページはこちら→



秋田米栽培情報発信
LINE始めました！
友達申請はこちら→



※クマにご注意
ください※
クマ情報はこちら→

